

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	IT概論 I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	長瀬	
学 年	1年			教科番号	1E01	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	ITの基礎知識はもちろん、職業人としてITを正しく理解し、活用から付加価値を付けて安全に利用する知識・技能を、講義・問題演習を繰り返しながら学ぶ。					
到達目標	<p>①コンピュータの種類を理解し、自分でコンピュータのトラブルに対応が出来る。</p> <p>②情報の安全な取り扱いを理解し、障害に備えてバックアップの作業が出来る。</p> <p>③データベースの概要が理解できる。</p> <p>④インターネットの仕組みや情報セキュリティの脅威を理解し、適切なセキュリティ管理・対策を行うことができる。</p>					
教材名	ここから始めるITパスポート / インフォテックサーブ ここから始めるITパスポート サブノート / インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集 / インフォテックサーブ 情報活用試験3級 公式テキスト/実教出版					
資格の 取得目標	1年次6月:情報検定 J検 情報活用試験 3級					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	<p>①授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。</p> <p>②スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	50%	10%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (1)情報とは
2	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (2)情報を収集するための検索方法
3	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (3)問題を解決するためには
4	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (4)パソコンの構成と仕組み
5	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (5)オペレーティングシステムとは
6	1. J検活用試験対策 第1章パソコンの基礎 (6)ファイルの管理
7	1. J検活用試験対策 第2章インターネット (1)インターネットとは
8	1. J検活用試験対策 第2章インターネット (2)インターネットに接続するためには
9	1. J検活用試験対策 第2章インターネット (3)Webページの閲覧について
10	1. J検活用試験対策 第2章インターネット (4)電子メール(Eメール)について
11	1. J検活用試験対策 第3章アプリケーションソフトの利用 (1)日本語ワープロソフトの使い方
12	1. J検活用試験対策 第3章パソコンの基礎 (2)さまざまなアプリケーションソフト
13	1. J検活用試験対策 第4章情報社会とコンピュータ (1)身近なコンピュータシステムと暮らし
14	1. J検活用試験対策 第4章情報社会とコンピュータ (2)情報社会の光と影
15	1. J検活用試験対策 第5章情報モラル (1)情報社会と情報モラル
16	1. J検活用試験対策 第5章情報モラル (2)ネットワークの利用とエチケット
17	J検活用試験 過去問題対策
18	J検活用試験 過去問題対策
19	J検活用試験 過去問題対策
20	J検活用試験 過去問題対策
21	J検活用試験 過去問題対策
22	J検活用試験 過去問題対策
23	J検活用試験 過去問題対策
24	J検活用試験 過去問題対策
25	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア
26	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア
27	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア
28	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア
29	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア

回数	講義内容
30	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア
31	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア
32	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア
33	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第3章システム構成
34	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第3章システム構成
35	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第3章システム構成
36	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第4章システム構成
37	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第4章システム構成
38	2. ITパスポート対策 第1部コンピュータシステム 第4章システム構成
39	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース
40	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース
41	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース
42	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク
43	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク
44	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク
45	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ
46	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ
47	2. ITパスポート対策 第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ
48	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第1章アルゴリズムとプログラミング
49	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第1章アルゴリズムとプログラミング
50	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第1章アルゴリズムとプログラミング
51	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第2章システム開発技術
52	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第2章システム開発技術
53	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第2章システム開発技術
54	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第3章マネジメント
55	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第3章マネジメント
56	1. ITパスポート対策 第3部システム開発 第3章マネジメント

回数	講義内容
57	総復習
58	総復習
59	総復習
60	総復習
61	総復習
62	総復習
63	総復習
64	総復習

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	IT概論Ⅱ	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	長瀬/須永	
学 年	1年			教科番号	1E02	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
	○					
授業概要	J検定情報活用試験2級の合格、ITパスポート試験の合格をを目標とする。また、コンピュータをより良く活用し操作するために、内部のしくみや、ハードウェアやソフトウェア及びコンピュータネットワーク技術の基礎知識や専門用語などを、講義・問題演習を繰り返しながら学ぶ。					
到達目標	①新しい技術(AI、ビッグデータ、IoT など)や新しい手法(アジャイルなど)の概要に関する知識を修得する。 ②経営全般(経営戦略、マーケティング、財務、法務など)の知識を修得する。 ③IT(セキュリティ、ネットワークなど)の知識、プロジェクトマネジメントの知識を修得する ④幅広い分野の総合的知識を修得する。					
教材名	ここから始めるITパスポート / インフォテックサーブ ここから始めるITパスポート サブノート / インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集 / インフォテックサーブ					
資格の取得目標	1年次12月:情報検定 J検 情報活用試験 2級 1年次 3月:ITパスポート試験					
授業内容と教員の実務経験の関連性	社内SE社内SEとして勤務経験のある教員がその経験を活かして、ハードウェアやソフトウェア及びコンピュータネットワーク技術の基礎知識や専門用語など授業を行う					
履修にあたっての留意点	①授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。 ②スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	50%	10%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務
2	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務
3	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務
4	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務
5	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略
6	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略
7	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略
8	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略
9	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略
10	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略
11	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略
12	1. ITパスポート対策 第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略
13	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
14	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
15	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
16	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
17	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
18	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
19	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
20	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
21	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
22	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
23	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
24	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
25	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
26	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
27	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
28	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
29	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題

回数	講義内容
30	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
31	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
32	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
33	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
34	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
35	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
36	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
37	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
38	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
39	2. J検定 活用試験2級 対策過去問題
40	総合問題演習
41	総合問題演習
42	総合問題演習
43	総合問題演習
44	総合問題演習
45	総合問題演習
46	総合問題演習
47	総合問題演習
48	総合問題演習
49	総合問題演習
50	総合問題演習
51	総合問題演習
52	総合問題演習
53	総合問題演習
54	総合問題演習
55	総合問題演習
56	総合問題演習
57	総合問題演習
58	総合問題演習

回数	講義内容
59	総合問題演習
60	総合問題演習
61	総合問題演習
62	総合問題演習
63	総合問題演習
64	総合問題演習

令和6年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報ビジネス科			教科名	ビジネス概論 I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	大沢	
学 年	1年			教科番号	1E03	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人に必要な仕事の基礎能力（8つの意識）を修得する。 ・ 様々な職種・業種に必要なビジネス知識や社会人のマナーを身につける。 ・ 新聞等から時事問題を理解し社会人としてのコミュニケーションを身につける。 					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①時事用語やビジネス用語がわかる。 ②ビジネスマナーやコミュニケーションの基本を理解できる。 ③新聞記事を読み、内容理解ができる。 ④表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。 ⑤仕事の場面を想定したケースを読み、主人公の行動の改善点と仕事の取り組み方がわかる。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス能力検定3級・2級公式テキスト、同公式試験問題集（接遇実習と共有使用するので注意） 					
資格の 取得目標	<ol style="list-style-type: none"> ①ビジネス能力検定試験3級に合格することを目標とする。 ②ビジネス能力検定試験2級に挑戦できるようにすること。 					
授業内容と 教員の実務経験の 関連性	商社にて実務経験がある教員がその経験を活かしてビジネス能力検定3級、2級について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の態度は、居眠り厳禁、他者への協力（おしゃべりなどで迷惑をかけないなど）社会人としてのマナーを重視する。 ・ 検定受験の前に模擬試験を実施し、評価に加える。 ・ 提出物は、期限厳守を前提とする。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	25%	25%	20%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	3級テキスト 第1篇 第4章 支持の受け方と報告・連絡・相談
2	問題集から 過去問題
3	3級テキスト 第2篇 仕事の実践とビジネスツール 第1章 仕事への取り組み方
4	3級テキスト 第2篇 仕事の実践とビジネスツール 第1章 仕事への取り組み方
5	3級テキスト 第2篇 仕事の実践とビジネスツール 第1章 仕事への取り組み方
6	3級テキスト 第2篇 仕事の実践とビジネスツール 第4章 統計・データの読み方・まとめ方
7	問題集から 過去問題
8	3級テキスト 第2篇 第5章 情報収集とメディアの活用
9	新聞に関する問題から演習
10	3級テキスト 第2篇 第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本
11	問題集から 過去問題
12	ビジネス用語の基本
13	ビジネス用語の基本
14	ビジネス用語の基本
15	2級テキスト 第2編 第3章 議事録・報告書・企画書
16	2級テキスト 第2編 第3章 議事録・報告書・企画書
17	問題集から 3級過去問題
18	問題集から 3級過去問題
19	問題集から 3級過去問題
20	問題集から 3級過去問題
21	問題集から 3級過去問題
22	問題集から 3級過去問題
	B検ジョブパス B検ジョブパス3級試験12月受験
23	2級テキスト 第1篇 第8章 チームワークと人のネットワーク
24	ビジネス概論 企業研究レポートI 1月提出
25	2級テキスト 第1篇 第2章 キャリアと仕事へのアプローチ
26	2級テキスト 第1篇 第2章 キャリアと仕事へのアプローチ

回数	講義内容
27	2級テキスト 第1篇 第6章 会議への出席とプレゼンテーション
28	2級テキスト 第1篇 第6章 会議への出席とプレゼンテーション
29	2級テキスト 第1篇 第7章 チームワークと人のネットワーク
30	2級テキスト 第1篇 第7章 チームワークと人のネットワーク
31	確認問題
32	後期末試験

令和6年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報ビジネス科			教科名	ビジネス文書	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	大沢	
学 年	1年			教科番号	1E04	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	「社内文書」「社外文書」「社交文書」の学習・演習を通して「文書作成の知識と作成能力」ことを学ぶ。					
到達目標	①表記技能について、正しい用字や用語が使い、ビジネス文書を正確に書くことができるようになる。 ②表現技能について、正確で分かりやすい文章や礼儀正しい文章が書ける。 ③実務技能について、社内文書や社外文書が書け、文書の取扱い等についての知識を得る。					
教材名	・ビジネス文書検定3級受験ガイド ・ビジネス能力検定3級・2級公式テキスト、同公式試験問題集 （接遇実習と共有使用するので注意）					
資格の取得目標	①ビジネス文書技能検定3級に合格することを目標とする。 ②ビジネス文書技能検定2級に挑戦できるようにする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	商社にて実務経験がある教員がその経験を活かしてビジネス文書3級、2級（ビジネス文書の基本）について授業を行う					
履修にあたっての留意点	・授業中の態度は、居眠り厳禁、他者への協力（おしゃべりなどで迷惑をかけるなど）社会人としてのマナーを重視する。 ・検定受験の前に模擬試験を実施し、評価に加える。 ・提出物は、期限厳守を前提とする。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	20%	20%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	授業内容の説明、教科書以外で準備する内容の説明、取得目標検定の説明など
2	第Ⅰ章 表記技能 総合 用字 用語
3	第Ⅰ章 表記技能 書式について
4	第Ⅰ章 表記技能 書式についての簡単な問題
5	検定過去問題 第Ⅰ章のまとめ
6	第Ⅱ章 表現技能 正確な文章
7	第Ⅱ章 表現技能 分かりやすい文章
8	第Ⅱ章 表現技能 礼儀正しい文章
9	検定過去問題 第Ⅱ章のまとめ
10	第Ⅲ章 実務技能 社内文書
11	第Ⅲ章 実務技能 社外文書
12	第Ⅲ章 実務技能 社交文書
13	検定過去問題 第Ⅲ章のまとめ
14	ビジネス概論3級テキストより第2編第4章統計・データの読み方・まとめ方(随時参照)
15	ビジネス概論3級テキストより第2編第2章ビジネス文書の基本(随時参照)
16	ビジネス概論3級テキストより第2編第3章ビジネス文書の基本(随時参照)
17	ビジネス文書検定過去問題 3級 解説 および2級の一部の解説
18	ビジネス文書検定過去問題 3級 解説 および2級の一部の解説
19	ビジネス文書検定過去問題 3級 解説 および2級の一部の解説
20	ビジネス文書検定過去問題 3級 解説 および2級の一部の解説
21	ビジネス文書検定過去問題 3級 解説 および2級の一部の解説
22	ビジネス文書検定受験に向けて、模擬試験実施
23	模擬試験の解説 ビジネス文書検定試験6月受験
24	ビジネス文書検定の反省と解説 今後の授業について・B検ジョブパス3級に向けて
25	3級テキスト 第1篇 第2章 キャリアと仕事へのアプローチ
26	3級テキスト 第1篇 第2章 キャリアと仕事へのアプローチ
27	3級テキスト 第1篇 第2章 キャリアと仕事へのアプローチ

回数	講義内容
28	3級テキスト 第1篇 第2章 仕事の基本となる8つの意識
29	3級テキスト 第1篇 第2章 仕事の基本となる8つの意識
30	3級テキスト 第1篇 第2章 仕事の基本となる8つの意識
31	3級テキスト 第1篇 第2章 仕事の基本となる8つの意識
32	前期末試験(ビジネス文書検定内容)

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	接客実習 I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	村上	
学 年	1年			教科番号	1E05	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△	○				
授業概要	就職には欠かすことのできないコミュニケーション力からマナー、礼儀、敬語や仕事の進め方を学ぶ					
到達目標	①サービススタッフとしての資質の向上を目指す ②対人能力（人間関係、話し方、服装など）の資質向上を目指す ③社会常識の向上を目指す ④問題処理能力、環境整備能力、金品管理能力、社交業務能力の向上を目指す					
教材名	B検ジョブパス ビジネス能力検定3級公式テキスト 同公式問題集 B検ジョブパス ビジネス能力検定2級公式テキスト 同公式問題集 プリント、過去問題					
資格の 取得目標	サービス接客検定3級を取得目標とする					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	医療機関で実務経験を有する教員がその経験を活かしてサービス接客3級接客業務を意識した接客技術について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の態度、社会人としてのマナーを重視する ・ 居眠りやスマートフォンの使用はしない ・ 検定の過去問題は採点して提出し、評価に入れる ・ 前期末試験を行う 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	10%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	教材の確認、授業の目標と進め方、目標となる検定について
2	ビジネスとコミュニケーションの基本
3	コミュニケーションの基本、円滑なコミュニケーション
4	ビジネスマナーの基本
5	感じの良いあいさつ、お辞儀の基本、仕事中の態度と健康管理
6	話し方と聞き方のポイント
7	ビジネスに相応しい話し方、尊敬語と謙譲語の使い方
8	来客対応の実践
9	来客対応と訪問の基本マナー
10	来客対応の実践②
11	会食のマナーと会食中のコミュニケーション、業務終了後の付き合いと冠婚葬祭の基本
12	復習問題
13	復習問題
14	電話対応
15	電話対応
16	接客と営業の進め方、お客様の立場に立った営業の仕方、顧客満足を高めるための情報収集
17	不満を信頼に変えるクレーム対応、クレームの理由とお客様の心理
18	サービス接客検定に向けて 過去問題
19	サービス接客検定に向けて 過去問題
20	サービス接客検定に向けて 過去問題
21	サービス接客検定に向けて 過去問題
22	サービス接客検定に向けて 過去問題
23	サービス接客検定に向けて 過去問題
24	サービス接客検定に向けて 過去問題

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	商業簿記	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	長瀬	
学 年	1年			教科番号	1E06	単位数 4.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	日商簿記3級の基礎をベースに学習を進める。 簿記の基本的な仕組みを学び、企業会計の入門を理解する。					
到達目標	<p>①簿記の基本的な仕組みを理解し、仕訳を行うことが出来る。</p> <p>②簿記のルールを理解し、適切に帳簿を付けることが出来る。</p> <p>③企業の様々な活動を計数的にとらえ、それを記録・計算・整理する知識および技術を修得する。</p>					
教材名	簿記講義3級／中央経済者 簿記ワークブック3級／中央経済者					
資格の 取得目標	1年次2月：全国経理教育協会 簿記能力検定 3級					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	<p>①10桁以上で、手のひらサイズ程度の電卓を準備し、毎回持参する。</p> <p>②スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	10%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	簿記の歴史、意味、目的、種類、資産・負債・資本の意義
2	貸借対照表の役割、その作成、練習問題
3	収益・費用の意味、損益計算書の役割、その作成
4	取引の意味と分解、結合関係、練習問題
5	勘定の意味、口座への記入、仕訳の必要性、方法
6	転記の意味と方法、練習問題
7	仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法
8	帳簿の関係、練習問題
9	試算表の意味と作成、その種類、貸借が一致しないときの調査法
10	決算の意味、手続き、精算表、帳簿決算(その1)、練習問題
11	現金勘定、現金過不足
12	小口現金、練習問題
13	当座預金、その他預貯金、出納帳
14	練習問題
15	分記法、総記法、売買損益の計算
16	練習問題
17	3分法
18	練習問題
19	商品に関する補助簿(仕入帳・売上帳)
20	商品に関する補助簿(商品有高帳)
21	人名勘定、統制勘定と補助元帳
22	貸倒償却、貸倒引当金、練習問題
23	固定資産の種類
24	減価償却
25	受取手形、支払手形、約束手形・為替手形の記帳
26	有価証券の種類、買入、売却、評価、練習問題
27	貸付金・借入金、未収金・未払金、商品券など
28	個人企業の資本金、引出金、所得税、住民税など
29	決算整理、棚卸表、精算表(その2)

回数	講義内容
30	練習問題
31	総復習
32	総復習
33	総復習
34	総復習
35	総復習
36	総復習

令和6年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報ビジネス科			教科名	接客英会話 I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	土田	
学 年	1年			教科番号	1E07	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
		○				
授業概要	ビジネスの場面で使える英語力を「聞く」「話す」の技能を中心に身につけさせる。生徒一人ひとりが、授業中できるだけ多くの英語を話せるよう発言の機会を与える。					
到達目標	国際的に通用する正しいマナーを身に着けると共に、丁寧で礼儀正しい英語を使ってビジネスの場で活躍できる人材になる。					
教材名	Living Grammar コミュニケーションのためのベーシックグラマー、プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	コミュニケーション英語の授業や演習の経験を基に会話力アップに重点を置いた授業を行う					
履修に あたっての 留意点	定期テストは面接テストとする。授業中の英語での発言回数や内容により点数を与え、評価に加える。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	0%	20%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	英語で数を数える、日付(月、曜日)の発音を授業の初めに毎回行う(ウォーミングアップ)授業方針説明
2	ウォーミングアップ。chapter1のリスニング。初対面の人と話を始める。マナーをわきまえた自己紹介をする。
3	ウォーミングアップ。場面に応じた挨拶のしかた
4	ウォーミングアップ chapter2のリスニング。聞き取れないとき、わからない時の表現。自己紹介の英語
5	ウォーミングアップ。礼儀をわきまえたお詫びの表現
6	ウォーミングアップ。chapter3リスニング。、答えが分からないときの表現
7	ウォーミングアップ。会話の糸口、きっかけを作る表現
8	ウォーミングアップ。chapter4リスニング。自分の仕事について話す。相手の仕事について聞く。
9	ウォーミングアップ。名刺を交換する。会話を発展させる。
10	ウォーミングアップ。chapter5リスニング。電話に必須の表現
11	ウォーミングアップ。人を紹介する。
12	ウォーミングアップ。chapter6リスニング。別れの挨拶をする
13	ウォーミングアップ。電話、伝言、不在時の取り次ぎ
14	ウォーミングアップ。chapter7リスニング。話の内容を確認する
15	ウォーミングアップ。面会の約束をする
16	ウォーミングアップ。chapter8リスニング。約束したことを変更する
17	ウォーミングアップ。時間に遅れる時の英語
18	ウォーミングアップ。chapter9リスニング。会社の場所を尋ねる。自社の場所を説明する
19	ウォーミングアップ。訪問した時のマナーと英語表現①
20	ウォーミングアップ。chapter10リスニング訪問した時のマナーと英語表現②
21	ウォーミングアップ。面会までの間の会話
22	ウォーミングアップ。chapter11リスニング。価格を交渉する①
23	ウォーミングアップ。価格を交渉する②
24	ウォーミングアップ。chapter12リスニング。納期を確認する
25	ウォーミングアップ。支払い、発送方法の確認する
26	ウォーミングアップ。chapter13リスニング。返事の確認をする
27	ウォーミングアップ。取引の決定をする
28	ウォーミングアップ。chapter14リスニング。取引を断る。

回数	講義内容
29	ウォーミングアップ。クレームをつける
30	ウォーミングアップ。chapter15リスニング。クレームを受ける
31	ウォーミングアップ。総復習。再度練習したい場面を生徒から募り練習する
32	ウォーミングアップ。総復習。再度練習したい場面を生徒から募り練習する

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	特別講義 I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	村上	
学 年	1年			教科番号	1E08	単位数 1.3
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	ジョブパス検定2級、3級の合格を目標として過去問題や模擬試験などで対策をする 就職強化週間に向けて、身だしなみの再チェックや模擬面接の作法、出入りなどを入念に行う					
到達目標	①ジョブパス2級、3級の模擬試験など行い、合格点クリアにもっていく ②スーツの着こなし方、準備するものや模擬面接の練習を繰り返し対策する					
教材名	過去問題集やプリント					
資格の 取得目標	11月：ジョブパス検定2級もしくは3級					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	40%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	問題演習
2	問題演習
3	問題演習
4	問題演習
5	問題演習
6	身だしなみ、スーツの着こなし方、模擬面接練習
7	身だしなみ、スーツの着こなし方、模擬面接練習
8	身だしなみ、スーツの着こなし方、模擬面接練習
9	身だしなみ、スーツの着こなし方、模擬面接練習
10	身だしなみ、スーツの着こなし方、模擬面接練習

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	WORD実習	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	村上	
学 年	1年			教科番号	1E09	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	Windowsの基本的な操作を修得し、アプリケーションソフト（WORD2019）の操作、機能を習得をする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な入力操作の学習 ・ 文書の入力（保存、読み込み、印刷） ・ 活用（複写・削除・移動・クリップアート） ・ 編集機能・表作成 ・ はがき作成 					
教材名	30時間でマスター『Word2019』（実教出版）					
資格の 取得目標	サーティファイ文書処理技能検定3級、2級の取得					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	医療機関で実務経験を有する教員がその経験を活かしてWord初級編、文書作成についての授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中は勝手にサイトを開いたり、スマートフォンを見たりしない。 ・ 検定過去問題の模擬問題を実施して評価に加える ・ 授業態度に気を付ける 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	0%	25%	25%	0%	100%

回数	講義内容
1	Word2019とは Wordの起動と終了
2	キータッチのソフトによる練習
3	文書入力 10分入力
4	書式設定 文書の保存と読み込み
5	Wordの活用 複写・削除・移動 クリップボード
6	Wordの活用 編集機能・右揃えや文字サイズなど
7	Wordの活用 均等割り付け・太字・ルビなど
8	Wordの活用 表の作成と編集①
9	Wordの活用 表の作成と編集②
10	Wordの応用 はがき作成①
11	Wordの応用 はがき作成②
12	差し込み印刷 メイン文書の編集
13	データファイルの選択印刷フィールドの挿入
14	検索と置換 表の並び替え
15	段落。ドロップキャップ
16	ビジュアル文書の作成
17	テキストに沿った実習問題①
18	テキストに沿った実習問題②
19	テキストに沿った実習問題③
20	サーティファイWord3級対策 過去問題をプリントに記入しながら行う
21	サーティファイWord3級対策 過去問題をプリントに記入しながら行う
22	サーティファイWord3級対策 過去問題をプリントに記入しながら行う
23	サーティファイWord3級対策 練習問題
24	サーティファイWord3級対策 練習問題
25	サーティファイWord3級対策 時間制限を設けて行う

回数	講義内容
26	サーティファイWord3級対策 時間制限を設けて行う
27	サーティファイWord3級対策 模擬問題
28	サーティファイWord3級対策 模擬問題
29	サーティファイWord3級対策 模擬問題
30	サーティファイWord3級対策 模擬問題
31	サーティファイWord3級対策 模擬問題
32	サーティファイWord3級対策 模擬問題

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	EXCEL実習	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1E10	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	アプリケーションソフトExcel 2019 (Ver.) の利用技術、知識を学ぶ。					
到達目標	<p>①表計算ソフトで作成ができる。</p> <p>②四則演算式や関数式（数学/三角、統計、論理）を修得する。</p> <p>③エラー表示の意味と対処法がわかる。</p> <p>④グラフ（棒、積み上げ、折れ線、円、ドーナツ、レーダー、3-D、複合）の作成ができる。</p> <p>⑤基本的なデータベース（並べ替え、抽出、検索、置換）が修得できる。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・実教出版「30時間でマスター Excel 2019」 発行者：小田良次 ・その他プリント配付 					
資格の 取得目標	1年次前期 受験 サーティファイ主催 Excel表計算処理技能認定試験3級合格を目標とする。					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かしExcel初級編、表計算、グラフについての講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。 忘れた場合は、授業前に申し出ること。 ・スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。 ・授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	自己紹介、学習目的、パソコン室の使い方とルール、テキストの使い方、評価について、履修にあたっての留意点
2	1章 Excelの起動、Excel入力画面、ワークシート、セルへの入力
3	1章 数値データの入力、四則演算式の入力、オートフィルタ機能
4	2章 合計の計算（SUM関数）、エラー表示について（プリント配付）
5	3章 ワークシートの活用（1） 行、列の挿入・移動・削除、セル参照・相対参照について
6	3章 セル参照・相対参照（計算式の複写）、平均（AVERAGE関数）の計算
7	3章 表示形式の変更（1）、便利なデータ入力方法
8	3章 罫線処理、オートカルク・セルのスタイル
9	3章 練習問題
10	4章 セル番地の絶対参照、割合の計算
11	4章 表示形式の変更（2）、文字属性の変更
12	4章 最大値の検出（MAX・MIN関数）、データのカウント（COUNT・COUNTA関数）
13	4章 セルの保護、関数練習問題
14	4章 端数処理関数（ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN、INT）
15	4章 順位づけ件数（RANK、EQ）
16	4章 条件の判定（IF関数）、練習問題
17	4章 条件の判定（IF関数）とネスト、NULLの使い方
18	4章 条件付き書式、4章の練習問題
19	2章 グラフの作成、5章 グラフの作成（1）
20	5章 グラフの作成（1）、練習問題
21	6章 グラフの作成（2）、練習問題
22	7章 データベースとは
23	7章 データベースとは、並べ替え（ソート）
24	7章 データベースとは、抽出（フィル）
25	サーティファイ検定対策 過去問題の解き方(例題)

回数	講義内容
26	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
27	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
28	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
29	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
30	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
31	サーティファイ検定対策 過去問題（練習問題および模擬問題）
32	模擬問題(サンプル問題) と総まとめ

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	アプリケーション中級	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	杉山	
学 年	1年			教科番号	1E11	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	アプリケーションソフトのWORD, EXCELの上級技術を身につける					
到達目標	1. WORDに於いてビジュアルな文章が作成できる 2. WORDに於いて他のソフト (EXCEL)との連結ができる 3. WORDに於いてスタイル定義を使いこなすことができる 4. EXCELに於いて論理関数 (IF関数) を使いこなすことができる 5. EXCELに於いて検索・行列関数を使いこなすことができる 6. EXCELに於いて複合グラフを作成することができる					
教材名	WORD2016 (30時間でマスター)、EXCEL 2016 (30時間でマスター)					
資格の 取得目標	サーフティファイWORD検定2級以上 サーフティファイEXCEL検定2級以上					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	企業のシステム開発部門で勤務経験のある教員がその経験を活かしてWORDとEXCELの高度な技能(2級目標)について授業を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	WORD応用:ビジュアルな文章の作成 ワードアートの挿入、編集
2	WORD応用:ビジュアルな文章の作成 スタイル定義、段落
3	WORD応用:ビジュアルな文章の作成 図形描画、スマートアート作成
4	WORD応用:EXCELグラフの挿入、表の挿入
5	EXCEL応用:論理関数(IF関数、OR関数、AND関数)
6	EXCEL応用:検索・行列関数(VLOOKUP関数、CHOOSE関数) 練習問題
7	EXCEL応用:情報関数、日付関数 練習問題
8	EXCEL応用:データベース関数(DSUM,DAVERAGE,DCOUNT)
9	EXCEL応用:複合グラフ、バブルチャート、3-Dグラフ
10	EXCEL応用:その他の機能 コメントの挿入、条件付き書式
11	EXCEL応用:その他の機能 入力規則、表示形式のユーザ定義
12	EXCEL応用:その他の機能 リンク、3D集計、データの統合
13	EXCEL応用:その他の機能 ブック・ワークシート・セルの保護
14	EXCEL応用:その他の機能 ゴールシーク
15	EXCEL応用:その他の機能 マクロの記録と実行
16	サートイファイ WORD検定2級練習問題1の練習
17	サートイファイ WORD検定2級練習問題1の練習
18	サートイファイ WORD検定2級練習問題1の練習
19	サートイファイ EXCEL検定2級練習問題1の練習
20	サートイファイ EXCEL検定2級練習問題1の練習
21	サートイファイ WORD検定2級 練習問題2
22	サートイファイ WORD検定2級 練習問題3
23	サートイファイ WORD検定2級 模擬問題1
24	サートイファイ WORD検定2級 模擬問題2
25	サートイファイ EXCEL検定2級 練習問題1

回数	講義内容
26	サーティファイ EXCEL検定2級 練習問題 2
27	サーティファイ EXCEL検定2級 練習問題 3
28	サーティファイ EXCEL検定2級 模擬問題 1
29	サーティファイ EXCEL検定2級 模擬問題 2
30	サーティファイ EXCEL検定2級 模擬問題 3
31	サーティファイ WORD、EXCEL検定2級 サンプル問題
32	検定問題の練習 (苦手対策)

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	リテールマーケティング I	
コース名	情報ビジネスコース			担当者	村上	
学 年	1年			教科番号	1E12	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	<p>様々なライフスタイルの変化に伴い、流通業界が急激に大きく変化している。この状況の中で、もっとも重要な人材は販売のプロである。その販売のプロになるための基礎を学習する。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・販売に必要な商品知識や販売技術、仕入れや在庫管理、マーケティングなど、より高度で専門的な知識を持つ人材の育成を行う ・小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身に着けている 					
教材名	<p>レクチャー&トレーニング 日商リテールマーケティング検定試験 3級 実教出版</p>					
資格の 取得目標	<p>リテールマーケティング検定 3級取得 (2年次7月)</p>					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度 (居眠りやスマートフォンを見ない) ・前期末試験を行う 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	0%	35%	35%	0%	100%

回数	講義内容
1	流通における小売業の基本的役割
2	流通経路別小売業の基本的役割
3	形態別小売業の基本役割
4	店舗形態別小売業の基本的役割
5	チェーンストアの基本的役割
6	商業集積の基本的役割と仕組み
7	商品の基本知識
8	マーチャンダイジングの基本
9	商品計画の基本
10	仕入計画の基本的役割
11	在庫管理の基本的役割
12	販売管理の基本的役割
13	価格設定の基本的考え方
14	利益追求の基本知識
15	過去問題演習
16	過去問題演習

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	ショップデザイン		
コース名	情報ビジネスコース			担当者	亀田		
学 年	1年			教科番号	1E13	単位数	2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△	○					
授業概要	色彩基礎知識・店舗デザイン色彩学(平面構成)をワークブック中心に行っていく。また遠近法によって建物の外観と室内を演習を行ない、徐々に実践的な見取り図を制作していく。さらにPOP制作を通して販売促進を考え、効果的な広告、商品カードを制作する。その為にマーカーによる文字演習を毎回行っていく。						
到達目標	(1)色彩の知識を身につける。(2)遠近法をふまえた見取り図が作成することができる。(3)作図法を工夫し、自分の考えたデザインを具体化することができる。(4)見本に習い文字の書き方やレイアウト法を習得し、伝えやすいチラシ、看板などのデザインが制作することができる。(4)デザインするための的確な資料を集めることができる。(5)アイデアから最終的デザインを作成するまでのプロセスを考え、能率の良い進め方を工夫することができる。						
教材名	BASIC ART WORKBOOK(HEXAS/亀田洋二著)トータルカラー(日本色彩研究所)						
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かしてショップレイアウト、カラーコーディネート、POP広告作成について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かしてショップレイアウト、カラーコーディネート、POP広告作成について授業を行う						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション 概要説明・道具の使い方
2	色彩構成1「季節の表現」
3	色彩構成2「色の対比」
4	透視図法について／遠近法演習
5	室外・室内遠近法による表現(色鉛筆の表現演習)
6	室外・室内遠近法による表現(色鉛筆の表現演習)
7	POP広告集中演習1
8	POP広告集中演習2
9	店舗デザインの立案・準備
10	店舗デザインの立案1(2点透視図法による室内)
11	店舗デザインの立案1(2点透視図法による室内)
12	店舗デザインの立案1(2点透視図法による室内)
13	店舗デザインの立案2(2点透視図法による外観)
14	店舗デザインの立案2(2点透視図法による外観)
15	店舗計画における販売促進のための広告・掲示物
16	講評とまとめ

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	キャリアデザイン I		
コース名	情報ビジネスコース			担当者	長瀬		
学 年	1年			教科番号	1E14	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	○	△					
授業概要	様々な教育アプローチを通じて、キャリア形成に必要とされる意欲・態度及び価値観を醸成し、社会的・職業的自立を目指す。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践行動学、グループワークでの学びを踏まえて夢実現に向けて「心のあり方」と「達成のスキル」を身につけることができる ・世の中にある様々な職業について学び、また就職活動に向けての準備を通じて働く事の意義や就労意識を持つことができる ・自己ブランディングを用いて、自分自身の特徴を可視化、自覚することで履歴書などでの自己アピールに繋げることができる ・その場その場にふさわしい表現方法で自分の気持ちや考えなどを正直に伝えられるようなコミュニケーションスキルを身につけることができる ・デジタル化の進展を踏まえ、ICT・AI活用・データリテラシーを学び、DXに関する知識、技術を身に付けることができる。 						
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢実現のための実践行動学」一般社団法人 実践行動学研究所 編著・発行 ・「自己発見・自己ブランディング」 						
資格の取得目標	なし						
授業内容と教員の実務経験の関連性							
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・スマートフォンなどの使用は禁止する。 						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	0%	40%	30%	30%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション／自己紹介 実習室パソコン使用時のマナー・インターネット使用時のモラル等
2	基礎学力テスト／ガイダンス準備
3	学生の手引き(建学の精神、教育理念、教育方針) 年間スケジュールの説明(行事の目的、学校の過ごし方)／マンダラチャート指導
4	自己ブランディング:自己ブランディングの目的 自己ブランディング:STEP1(自己分析・発見)-自分に光を当てる-テーマ1学校生活から得た資産 DXリテラシ:AIを仕事や生活で活用する為の基礎的素養を身につける(AI利活用)①
5	DXリテラシ:基本的なパソコン操作を身につける(ICT PCスキル)
6	自己ブランディング:自己ブランディングの記入／個人ガイダンス
7	自己ブランディング:自己ブランディングの記入／個人ガイダンス
8	職業観、業種と職種の違いを調査 / 自己分析シートの作成
9	自己ブランディング:STEP1(自己分析・発見)-自分に光を当てる-まとめ 自己ブランディング:STEP2(社会的自己分析・発見について)-テーマ1私の仕事能力 アルスオープンキャンパスについて／学生の手引き(期末試験、成績について)
10	ソーシャルスキルトレーニング:コミュニケーションの基本を知る DXリテラシ:AIを仕事や生活で活用する為の基礎的素養を身につける(AI利活用)②
11	実践行動学Part1コンセプト、意欲的な心構え 実践行動学Part1マジックドア1 夢と目標
12	実践行動学Part1マジックドア2 夢を喰うバク「誤った思い込み」と「言い訳」
13	実践行動学Part1マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために その1 行動のよりどころと心構え
14	DXリテラシ:情報セキュリティやネットモラルなど、自分や企業の情報を守る知識を身につける。
15	オープンキャンパス準備
16	夏休みの宿題、過ごし方などについてのオリエンテーション、個別ガイダンスなど
17	実践行動学Part1マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために その2 まず第一歩を 後期のスケジュールについて(秋の就職強化週間準備、服装・身だしなみについて)
18	実践行動学Part1マジックドア5 目標を設定しよう
19	ソーシャルスキルトレーニング:コミュニケーションの難しさを知る+チームとしての力を高めるコミュニケーション
20	校長先生講話:「学ぶことの意義と役割」
21	自己ブランディング:自己ブランディングの記入個人ガイダンス
22	自己ブランディング:自己ブランディングの記入個人ガイダンス

23	自分の適正と職業選択 アサーショントレーニング: 第1回目 ソーシャルスキルトレーニング: 私は誰、あなた誰
24	就職活動の流れ 志望先を選ぶ時の注意点
25	実践行動学Part2マジックドア1 プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる
26	アサーショントレーニング: 第2回
27	実践行動学Part2マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる
28	アサーショントレーニング: 第3回
29	実践行動学Part2マジックドア3 あなたの問題は、あなたが解決できる
30	自己ブランディング: STEP3 自己表現・自分ブランディングについてテーマ1私という人間を理解させ、共感を得る3-1-1 (P34-P38)
31	実践行動学Part2マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう
32	就職活動のあらまし
33	実践行動学Part2マジックドア5 目標があなたの才能を開花させる
34	自己ブランディング: STEP3 STEP3【④】長所をまとめてみましょう／短所をまとめてみましょう
35	自己ブランディング STEP3 3-1-2「趣味」 3-1-3「特技について」(P42-P43) STEP3 3-1-4「アルバイト」3-1-5「スポーツ・部活動」(P44-P47)/ 個人ガイダンス
36	自己ブランディング STEP3 3-1-2「趣味」 3-1-3「特技について」(P42-P43) STEP3 3-1-4「アルバイト」3-1-5「スポーツ・部活動」(P44-P47)/ 個人ガイダンス
37	自己ブランディング 3-1-6「学生時代で力をいれたこと(学業について)」 3-1-7「学生時代で力を入れたこと(学業以外について)」3-1-9「自己PR」(P48-P55) SPI対策
38	自己ブランディングまとめ / SPI対策
39	自己ブランディングまとめ / SPI対策
40	SPI対策
41	就職活動の流れ・考え方 / 冬休みの過ごし方
42	1月以降スケジュールについて ※OB・OG対談スケジュール確認 ※卒業研究発表会確認
43	冬～年度末にかけての就職スケジュールについて書類選考対策 履歴書の書き方 他
44	就職活動の流れ (合同説明会/・個別説明会/・インターンシップ 他
45	就職強化週間(春期)指導①

回数	講義内容
46	就職強化週間(春期)指導② / インターンシップ指導
47	就職強化週間(春期)指導③ / インターンシップ指導
48	(OB・OG事前指導)質問の仕方 / キャリアデザインルーブリック評価 就職強化週間(春期)指導④ / インターンシップ指導

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報ビジネス科			教科名	コンピュータリテラシ基礎		
コース名	情報ビジネスコース			担当者	関根		
学 年	1年			教科番号	1E15	単位数	8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択	
			○				
授業概要	Wordの演習及びサーティファイワープロ演習を行う。 EXCELの演習・サーティファイ演習を行う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 罫線を使った文書 2. 過去問題集（入力） 3. 過去問題集（文書作成） 4. 過去問題集（表計算） 						
教材名	Wordのサーティファイワープロ3級問題演習を行う。 EXCELのサーティファイ3級問題演習を行う。						
資格の 取得目標	Wordのサーティファイワープロ3級取得を目標に演習を行う。 EXCELのサーティファイ3級の取得を目標に演習を行う。						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてコンピュータ実習の基礎 I について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	Micro Office 関連ソフトの知識とスキルに自信を持てるようにする。						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	0%	50%	50%	0%	100%	

回数	講義内容	
59	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策
60	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策
61	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策
62	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策
63	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策
64	サーティファイワープロ検定対策	サーティファイエクセル検定対策